

# 百々よみとりおけいこ②（低）

名まえ（）

きょうは「きよみずやきだんち」のことをおはなしまし

ょう。そもそもみなさんがすおここのちいきに大むかしからだんちがあつたというわけではないのです。

もともとはにしの山のむこうがわでやかれていました。

東山区五条坂

のちかくです。むかしは「でんきがま」とい

うべんりものがなく、すべて「のぼりがま」でした。そこに、よくもえる松のわり木をぶんぶんほうりこんで何日もかけてやいたのです。

このかまはものすごいけむりをだします。ということはまわりのいえのせんたくものはまつくりにすすがついてしまうことになるのです。

めいわくをかけないようにしようとすれば、いえのすぐないところにひつこすのがいい、ということで一九六〇年代にたくさんのかまはまつくり人さんたちがここに来たのです。

一九六二年には「くみあい」というものができました。おなじじごとをする人がおたがいにきょうりよくするしくみです。

こうして約七十けんのみなさんが、八二五〇〇平方メートルほどのエリアにすみ、まい日やきもののおじいとをされているわけです。

一九七五年からは「かみまつり」もはじまつたのですが、五条坂と同じじきだとお客様があつまらないといふので、清水焼の郷まつり、といふことで秋にひらかれるようになりました。やきものバーゲンだけでなくいろいろなくふうをされているので、みなさんもしらべてみましよう。

おんどくサイン→

①なんのはなしでしよう?

( ) きよみずだら ( ) きよみずやきだんち

( ) やきものつくりかた ( ) かまのはなし

②でんきがまにかわるまでなんというかまがつかわれていたのでしょうか。

( ) ③②のかまになにをほうりこんでいましたか?

( ) ④のぼりがまがひきおこしたもんだいはどんなことでしたか?

( ) ⑤きよみずやきだんちのとうきまつりはいつはじまつたのでしょうか。

( ) ⑥くみあいができたのはいつのことですか?

( ) ⑦松をもやしたときもくもく出るものは?

( ) ⑧なぜ秋にまつりがひらかれるのですか?

( ) ⑨あつているものに○をつけましょ。

( ) きよみずやきだんちは大むかしからあつた。

( ) むかしはでんきがまがではなかつた。

( ) とうきのおまつりはなくなつてしまつた。

⑩おもつたことを五行でまとめましょう。

できばえは?



# 百々読みとりおけいこ②（中）

名前（ ）

今日は清水焼団地のことをお話しよう。そもそもみなさんがすむこのちいきに大むかしから清水焼団地があつたというわけではないのです。

もともとは京都盆地の東、東山の近くで京焼・清水焼はやかれていました。東山区五条坂のちかくです。むかしは「でんきがま」というものがなく、すべて「のぼりがま」でした。そこに、火力のつよい松のわり木をどんどんほうりこんで何日もかけてやいたのです。

このかまはものすごいけむりをだします。ということはまわりの家のせんたくものはまつ黒にすすぐついてしまうことになるのです。

東山区の、この公害問題をかいけつしようとすれば、家のすくないところにひっこすのがいい、ということで一九六〇年代にたくさんの作家さんたちやしょく人さんたちがここに来たのです。

一九六二年には「清水焼団地協同組合」ができました。まあ、同じ山の東と西なので、ひっこし、といつても近いので、当時のみなさんは少しは気が楽だったのだと思います。

一九七五年からは「陶器まつり」も始まつたのですが、五条坂と同じ時期だとお客さんが集まらないというので、清水焼の郷まつり、ということで秋にひらかれるようになりました。焼き物のバーゲンだけでなくいろいろな工夫をされているので、みなさんも調べてみましょう。

音読サイン→

①何の話でしよう？

（ ）清水焼団地のこと（ ）清水ののみかた

（ ）清水焼の歴史（ ）清水焼の作り方

②でんきがまにかわるまでなんというかまがつかわれていたのでしょうか。

（ ）③②のかまではなにをくべていましたか？

（ ）④のぼりがまがひきおこした問題はどんなことでしたか？

（ ）⑤そう音（ ）しんどう（ ）すすのけむり

（ ）⑥清水焼団地協同組合ができたのは何年のことですか？

（ ）⑦松をもやしたときもくもく出るものは？

（ ）⑧なぜ秋に祭が行われるのですか？

（ ）⑨あつているものに○をつけましょう。

（ ）⑩古代から清水焼団地はあつた。

（ ）⑪むかしはでんきがまではなかつた。

（ ）⑫陶器の祭りは今はない。

（ ）⑬上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？



# 百々読み取りおけいこ②（高）

名前（ ）

今日は清水焼団地のことをお話しましよう。そもそもみなさんが住むこの地域に大昔から清水焼団地があったというわけではないのです。

もともとは京都盆地の東、東山の近くで京焼・清水焼は焼かれていました。東山区五条坂付近です。昔は電気窯などというものがなく、すべて登り窯でした。そこに、火力の強い松のわり木をどんどん放り込んで何日もかけて焼いたのです。NHKの朝の連続ドラマ「スカーレット」を見た人はイメージできると思いますが。

この窯はものすごい煙をだします。ということはまわりの家のせんたくものは真っ黒にすすぐついてしまうことになるのです。

東山区の、この公害問題を解決しようとすれば、新天地に引っ越すのがいい、ということで一九六〇年代にたくさんの作家さんたちや職人たちがここに來たのです。

一九六二年には「清水焼団地協同組合」ができました。まあ、同じ山の東と西なので、ひっこし、といつても大移動ではなく近いので、当時のみなさんは少しは気が楽だったのだと思います。

こうして約七十軒の業者さんが、八二五〇〇平方メートルほどのエリアに住み、毎日京焼・清水焼関係のお仕事をされているわけです。

一九七五年からは「陶器まつり」も始まったのですが、五条坂と同じ時期だとお客さんが集まらないというので、清水焼の郷まつり、ということで秋に開催されるようになりました。焼き物の安売りだけでなくいろいろな工夫をされているので、みなさんも調べてみましょう。

音読サイン→

① 何の話でしよう？

（ ）清水焼団地のこと（ ）清水ののみかた

（ ）清水焼の歴史（ ）清水焼の作り方

② 電気窯にかわるまでなんという窯がつかわれていたのでしょうか。

（ ）②の窯ではなにをくべていましたか？

（ ）④ 登り窯がひきおこした問題はどんなことでしたか？

できばえは？





